

天満宮

菅原道真すがわらのみちざねを祀まつる神天満宮は、学問の神様として知られる菅原道真を祀る神社です。文化芸術の神様、厄除けの神様などとして崇敬されています。合格祈願や学業成就の御利益があります。

菅原道真すがわらのみちざねは、平安時代に活躍した学者・詩人・政治家で、政争に敗れて、昌泰四年しょうたい（九〇一年）に太宰府へ左遷されました。太宰府天満宮（福岡県太宰府市）が全国の天満宮の総本宮です。

箭筈神社やはずのかみの社伝によると、大正時代の初め災い発生のため、村人が不安な日々を送っていました。有志者が赤野井天満宮より分神を拝受され、山本岩蔵氏宅やまもといわぞうに息災如意安全を願い、社殿を建立しました。

昭和四十三年九月に現在の場所へ遷宮しています。基礎・鳥居は、当時の石工 谷口茂七氏の作です。